

生物学的製剤による アトピー性皮膚炎の治療を 開始しました

4月下旬より、皮膚科で難治性の成人アトピー性皮膚炎に対し生物学的製剤（一般名デュピルマブ・薬価1本81,640円）による治療を開始しました。これはアトピー性皮膚炎の発症に深く関わるTh2型炎症を抑制するヒト型抗ヒトIL-4およびIL-13受容体抗体製剤であり、ステロイド外用薬等で十分な効果が得られなかった中等症〜重症の患者さんに適応となります。

初回は600mg、2回目以降は300mgを2週に1回、皮下投与します。長引くアトピー性皮膚炎にお困りの患者さん



皮膚科部長・診療部長
布袋 祐子（ふてい ゆうこ）

- ◆1992年慶應義塾大学医学部 卒業
- ◇医学博士
- ◇慶應義塾大学皮膚科学教室非常勤講師
- ◇日本皮膚科学会認定皮膚科専門医

がおられましたら、ぜひご紹介ください。

なお皮膚科外来は7月より土曜日は休診とさせていただきます。ご不便をおかけいたしますが、ご了承いただけますようお願い申し上げます。診断が確定している疾患（蜂窩織炎・帯状疱疹）は救急科や内科などで入院をお受けすることも可能ですので、地域連携室（午後は病院代表 03-3399-1101）までご相談ください。

カンファレンスのご案内です

第9回荻窪整形外科カンファレンス

6月25日(月) 新東京会館 19時00分〜
 ギャラフレックス注射による
 デュプリトラン拘縮治療の実際
 手外科センター長 岡崎 真人医師

◆小児の肘関節周囲骨折 見逃さないコツ
 慶應義塾大学 整形外科教室 准教授
 佐藤 和毅医師

第30回荻窪循環器カンファレンス

7月31日(火) ヒルトン東京 19時30分〜
 第30回目を記念して開催場所を新宿に移
 行いたします。ぜひご予約くださいませ。
 お申込み・お問い合わせは
 地域連携室までどうぞ

病院ホームページを 刷新いたしました

総合TOPページ(PC版) <https://www.ogikubo-hospital.or.jp/>

医療関係者向けTOP (スマホ版)



荻窪病院 HP が新しくなりました。医療関係者専用ページを設け、先生方に向けた情報発信をしております。ぜひご覧くださいませ。

**循環器疾患の緊急受診・
緊急入院のご依頼**

代表
03-3399-1101

医療法人財団 荻窪病院 地域連携室
 TEL 03-3399-0257 FAX 03-3399-0258
 月〜金 8:30〜18:30 土 8:30〜12:00
 〒167-0035 杉並区今川3-1-24 <http://www.ogikubo-hospital.or.jp/>